

# 幼稚園は〈子どもがはじめて出会う〉学校です

- 幼稚園も学校教育法に基づく「学校」です。  
（「幼稚園教育要領」文部科学省告示）に基づいて教育を行います。

○ 幼児期は心身の発達が盛んな時期であり、この時期に人格の基礎・基本が作られるといえます。子どもの発達の様子は様々ですが、発達段階に応じていろいろな体験をしながら心身ともに育っていきます。幼稚園は、集団生活の中で「遊び」を通して、子どもたちの個性を伸ばし、学びの基礎を培っていきます。「学び」の基礎作りは決して小学校教育の先取り教育ではありません。この時期に人間関係をしっかりと築き、感性、言葉や表現力を豊かに育てていくことです。また、幼児期は、親子の絆をしっかりと結ぶ大切な時期でもあります。

4歳児入園までご家庭で愛情をかけてお子さまを育てられたことは本当に素晴らしいことです。入園後は幼稚園と連携を取り合い、親子共々楽しい幼稚園生活を送っていきましょう。

## 本園の教育目標

人権尊重の精神を基本とし、心豊かで  
たくましい人間形成の芽生えを培う

## めざす幼児像

- よく考える子
- なかよく遊べる子
- 明るくたくましい子



## 遊び は生活そのもの

幼児にとって幼稚園の遊びは大切な活動です。遊びを通して積極的な態度や意欲、創造力、集中力などが育ち、充実感を味わうことができますようになります。友だち同士のふれあいによっていろいろな言葉を獲得していきます。友だちと一緒に歌い、絵を描き、砂場で遊ぶなどの活動を通して一人では得られない楽しさ、力を合わせることの喜び、集団生活のきまりなどを身につけていきます。

## 大切な 集団生活 の場

幼稚園は、家庭では味わえないいろいろな活動を友だちと一緒に経験できる集団生活の場です。育った環境も感じ方も異なる子どもたちです。時にはけんかやトラブルもあります。しかし、それらはまさに学びのチャンスです。いろいろな体験をとおして、相手の気持ちを知り、ルールや自分をコントロールすることを学び、その中で協調性や社会性を身につけていきます。

## やる気 を大切に

「楽しそう！やってみよう！」「不思議？なぜ？」を大切にします。子どもたちの好奇心、学びたい意欲は無限です。いろいろなことに取り組み、繰り返し行い、できた喜びが次の意欲につながります。大人が温かい目で見守り、励まし、良さを認め、ほめることで子どもたちは秘めた可能性を伸ばしていきます。

## 育つ やさしさ

同じクラスの友だちや異年齢の子どもたちとのふれあいや遊びの中で譲り合い、がまんなどを学びます。小動物や栽培物の世話をすることでいたわりの気持ちも芽生えます。先生や地域の方や大学生との優しいかかわりの中で信頼関係を築き、親以外の人にも愛される喜びを感じていきます。